

南国市学校給食アドバイザー設置要綱

令和3年6月15日南国市教育委員会告示第5号

(設置)

第1条 南国市の学校教育における食育を推進するため、南国市教育委員会に南国市学校給食アドバイザー（以下「アドバイザー」という。）を置く。

(職務)

第2条 アドバイザーは、次に掲げる職務を行うものとする。

- (1) 学校教育における食育の推進に関して助言等を行うこと。
- (2) より良い学校給食の推進に関して助言等を行うこと。
- (3) 南国市学校給食センターの運営に関して助言等を行うこと。

(委嘱)

第3条 アドバイザーは、食育及び学校給食に関する知識及び経験を有する者のうちから南国市教育委員会が委嘱する。

(任期)

第4条 アドバイザーの任期は、2年とする。ただし、補充のアドバイザーの任期は、前任者の残任期間とする。

(報償費及び費用弁償)

第5条 アドバイザーの報償費は、1日10,000円とする。

2 アドバイザーの費用弁償は、南国市一般職の職員の旅費に関する条例（昭和55年南国市条例第19号）の規定の例により支給する。

(補則)

第6条 この要綱に定めるもののほか、アドバイザーに関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。

アドバイザー名簿

	所属等	氏名	任期
1	RKC調理製菓専門学校 常任顧問・管理栄養士 (前 RKC調理製菓専門学校校長) 特定非営利活動法人 地域サポートの会 さわやか高知 理事長	三谷 英子	R5. 10. 7～ R7. 10. 6
2	南国市食生活改善推進協議会 会長	長山 由里香	R5. 10. 7～ R7. 10. 6
3	元高知県給食会理事長 元南国市教育長	西森 善郎	R5. 10. 7～ R7. 10. 6






学校給食アドバイザー会議を開催しました

10月18日に令和4年度第1回南国市学校給食アドバイザー会議を開催しました。この会議は、南国市における学校給食の更なるレベルアップと食育を推進するため、令和3年に設置したものです。食育や学校給食に関する知識および経験を有する3名にアドバイザーを委嘱しています。

今回の会議では、事務局(学校教育課)から、令和3年度の学校給食の取組みと食材費高騰への対応状況を報告しました。

アドバイザーからは、「学校給食は郷土愛を育てるためのもの」「価格も大事だが地元企業も大切に」「生産者の名前や顔がわかるような取組を」「様々な食材を取り入れて南国市産の価値を再発見できるように」「毎日満足感をもって給食が食べられることが大事」「給食費の見直しもやむを得ないのでは」といったご意見をいただきました。

南国市の学校給食では、これまでの歴史ある取組を今後も継承し、いただいたご意見を参考にしながら更なるレベルアップに取り組めます。

引き続き紙面で紹介していきますので、お楽しみに。

■問い合わせ/学校教育課 学校給食係 ☎088-863-2566

アドバイザー氏名(所属等)

三谷 英子 (RKC調理製菓専門学校常任顧問)

浅野 聡子 (株式会社Story Crew代表取締役)

※浅野アドバイザーはオンライン出席

西森 善郎 (前 高知県学校給食会理事長)





NANKOKU 給食だより

南国市食育キャラクターデザイン：高知県立高知東工業高等学校美術マンガ部





▲中学校給食の献立を南国市公式 Facebookに掲載しています。ご覧ください

学校給食運営委員会・学校給食アドバイザー会議

「南国市学校給食運営委員会」は、学校給食の適正かつ円滑な運営を図る目的で本年度設置され、PTA代表や学校長代表、有識者など13名の構成です。9月26日の第1回会議では、本市の学校給食や物価高騰への対応について報告し、「家庭ではなかなかできない薄味、和食中心の給食を続けてほしい」などの意見がありました。

9月27日には「南国市学校給食アドバイザー会議」を開催し、中学校給食や残食問題について報告し、3名のアドバイザーに助言を求めました。食育と学校給食の知識と経験が豊富なアドバイザーから、「食欲をそそるにはビジュアルが大事、お皿を工夫してみては」「地元企業を大切に」「残食問題には、栄養教諭だけでなく学校の先生方を巻き込んで、繰り返し巻き返し日々取組むべき」といった助言をいただきました。今後も、本市の歴史ある食育と学校給食の取組を推進していきます。



▲学校給食運営委員会



▲学校給食アドバイザー会議

アドバイザー

三谷 英子 (RKC調理製菓専門学校常任顧問)

長山 由里香 (南国市食生活改善推進協議会会長)

西森 善郎 (元 高知県学校給食会理事長)

■問い合わせ/学校教育課学校給食係 ☎088-863-2566

南国市学校給食アドバイザー会議 議題一覧

令和3年度 第1回 令和3年10月7日(木)

南国市の学校給食の取組について
学校給食センター

ふるさと愛、郷土愛を
学校給食を通じて育む

- ・子どもたちを発信のツールとした食育を
- ・子どもたちを生産者の喜びに出合わせる
- ・小と中の食育を9年間で結びつける
- ・情報だけでなく体験を重視
- ・食育はすべての根底。各教科と切り離さない。

令和3年度 第2回 令和4年3月18日(金)

1. 「南国市立十市小学校の取組」について
南国市立十市小学校 栄養教諭 石川 利恵
2. 「道徳科からつなげる食育」について
南国市立岡豊小学校 栄養教諭 河野 佳奈

- ・和食と箸の食文化を大事に
- ・担任との連携が必要
- ・高齢者の出番を作り伝承を
- ・和食にこだわりつつつけてほしい

令和4年度 第1回 令和4年10月18日(火)

1. 令和3年度 南国市の学校給食の取組について
南国市学校給食センター 栄養士 水間 公美子
2. 南国市学校給食における食材費高騰への対応
南国市学校給食センター 学校給食係長 須藤 千佳

- ・価格も大事だが地元企業も大切に
- ・生産者の名前や顔がわかる取組を
- ・様々な食材を取り入れて南国市産の価値を再発見しては
- ・毎日満足感をもって給食が食べられるように
- ・給食費の見直しもやむを得ない

令和4年度 第2回 令和5年2月17日(金)

1. 「学校は楽しい!」「食べるの大好き!」～特別活動を中心とした食育の取組～
長岡小学校 栄養教諭 澳本 由佳
2. 令和4年度実施 国府小学校の食育の取組
国府小学校 講師 野村 円美

令和5年度 第1回 令和5年9月27日(水)

1. 中学校における食育の取組について
鳶ヶ池中学校 栄養教諭 島内 雅子
2. 残食率の低減に向けて
3. オーガニック給食について
南国市教育委員会 学校教育課 学校給食係長 須藤 千佳

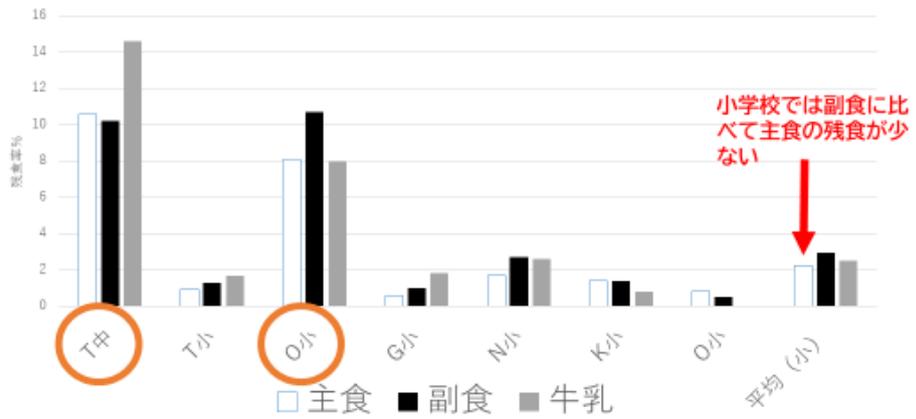
- ・食欲をそそるにはビジュアルが大事
- ・お皿を工夫しては
- ・地元企業を大切に
- ・残食問題には、栄養教諭だけでなく学校の先生方を巻き込んで、繰り返し巻き返し日々取組むべき

令和6年度 第1回 令和6年4月15日(月)

1. 令和5年度における学校給食の取組について
南国市教育委員会 学校教育課 学校給食係長 須藤 千佳
2. 事例発表1：十市小学校 食育の取組
十市小学校 講師 箭野 あずさ
南国市立教育研究所長(前十市小学校長) 猪原 靖
3. 事例発表2：後免野田小学校 食育の取組
後免野田小学校長 川村 一弘

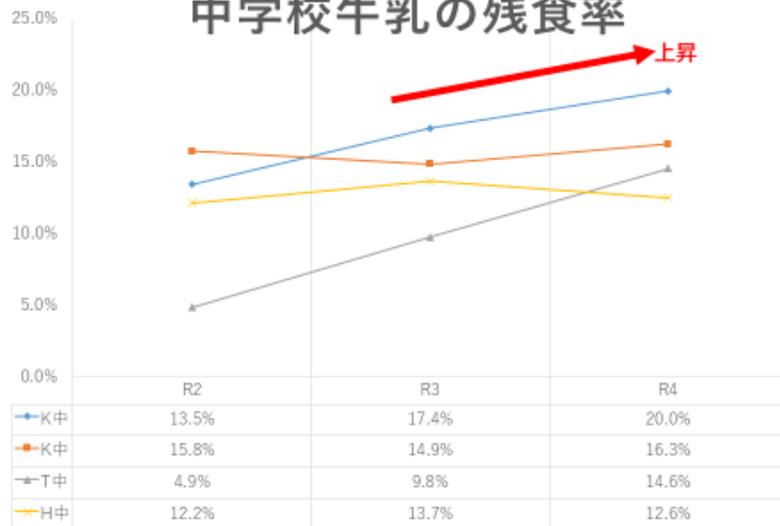
- ・各校における取組に感動
- ・継続していくことが重要
- ・子どもたち同士で教えあうことが一番効果的で成功体験にもつながる
- ・この小学校での取組を中学校にもつなげなければならない
- ・中学校の先生方にも、これだけの食育を受けてきているということを知ってもらう必要がある
- ・食育でも小中連携を!

令和4年度残食率



2

中学校牛乳の残食率



4

R2. 1. 27全中学校で残された牛乳

